



家族の幸せ・健康を願う

にほんの行事食

第六回

お月見といえは…

9月に入り、随分秋らしくなってきました。8日は「中秋の名月」でした。お月見されましたか。

中秋の名月も毎年異なります。今年は9月8日でした。中秋の頃が一年のうちで、一番空気が澄んでいて月がきれいに見えるので、昔からお月見をしていました。

えのお団子は、昔「衣被(ぎぬかつぎ)」だったようです。衣被は皮をつけたまま里芋の小芋を蒸したものの。無事に収穫できたことへ感謝し、お供えしたといわれています。

月見団子といえは、満月の丸」ということで、形は真ん丸のお団子をミッド型に積み重ねてお供えするのが主流。数は、「十五夜にちなんで15個」とするところもあれば、「二年の満月の数にあわせて12個」とするところもあるようです。

また、旧暦9月13日は、十三夜(栗名月・豆名月)といわれています。現在では十五夜が主ですが、本来のお月見は十五夜と十三夜の二夜に観月することを行います。ぜひ十三夜(10月6日)の月も見てみましょう。

9月を初秋、8月を仲秋、7月を晩秋。秋の真ん中の仲秋は旧暦の8月をさします。また、中秋は、ちょうど秋の真ん中の日で、旧暦の8月15日のこと。旧暦は、月の満ち欠

ちちょうど秋の真ん中の日で、旧暦の8月15日のこと。旧暦は、月の満ち欠

ちちょうど秋の真ん中の日で、旧暦の8月15日のこと。旧暦は、月の満ち欠

ちちょうど秋の真ん中の日で、旧暦の8月15日のこと。旧暦は、月の満ち欠

ちちょうど秋の真ん中の日で、旧暦の8月15日のこと。旧暦は、月の満ち欠